



法と市民

「法の目的は平和であり、それに達する手段は闘争である」とは、ドイツの法学者イェーリングの「権利のための闘争」の冒頭の有名な言葉です。

法の侵犯は、個別的なものでありますが、それへの対応は全体を守る面もあります。例えば、刑法の不動産侵害罪は当該不動産の侵害を処罰の対象とするにより不動産の所有権そのものを守ろうとしています。

法・権利を守るためには、侵犯行為を許さないという強い意志と行動が必要です。

他方、地方自治体は、個別的な事態への対応を通じて市民の皆さんの安全・安心に貢献することがメインの仕事です。このことは事後の対応もありますが、事前に対応することが望ましいといえます。

限られた財源の中ではありますが、治水対策をはじめインフラ整備を国・府の協力を得て取り組んでまいります。

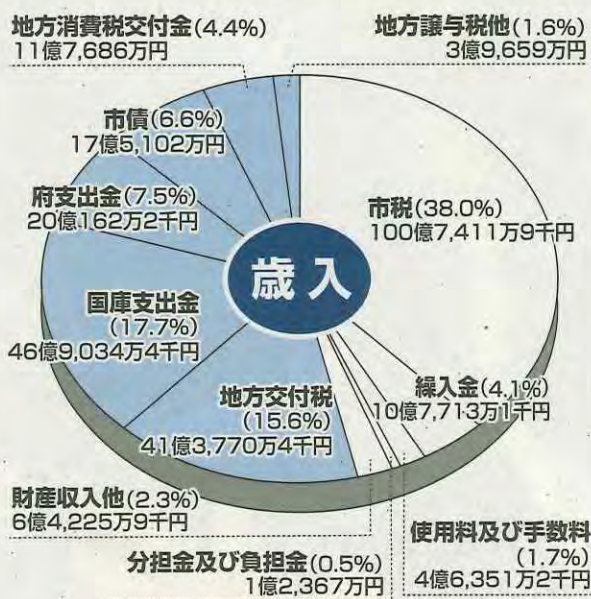
議案等を原案通り可決 市議会第3回定例会

9月3日(火)に開会した令和元年八幡市議会第3回定例会は、市が追加提出

した人事案件等を含め、議案等をすべて可決、同意、認定し、10月15日(火)に閉会しました。

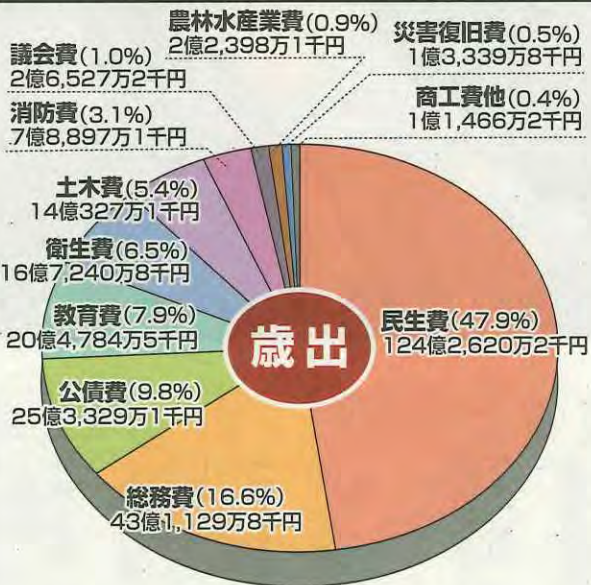
人事案件は、公平委員会委員に梶山玉香さん(再任)の選任についての議案です。

一般会計歳入 265億3,483万1千円



自主財源(46.6%) 依存財源(53.4%)

一般会計歳出 259億2,059万9千円



特別会計

特別会計の決算状況は、表のとおりです。

特別会計の実質収支は、いずれも黒字で決算することができました。

※水道事業会計・下水道事業会計の決算状況の詳細は、上下水道広報紙「やわたの上下水道」(令和2年2月発行予定)でお知らせします。

平成30年度会計別決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引	
一般会計	265億3,483万1千円	259億2,059万9千円	6億1,423万2千円	
特別会計	休日応急診療所	3,840万5千円	3,839万8千円	7千円
	駐車場	1,241万2千円	1,213万4千円	27万8千円
	国民健康保険	79億7,809万6千円	78億5,790万9千円	1億2,018万7千円
	介護保険	52億8,683万1千円	51億8,473万7千円	1億209万4千円
	後期高齢者医療	16億6,208万6千円	16億3,854万3千円	2,354万3千円
	計	149億7,783万円	147億3,172万1千円	2億4,610万9千円

歳出決算額を人口1人当たりで見ると(平成31年3月31日現在の人口:71,183人で算定)

- 1人当たり合計...364,140円
- 民生費...174,567円 ▶ 高齢者・障がい者・児童の福祉などのために
 - 土木費...19,714円 ▶ 道路や公園の整備、管理などのために
 - 総務費...60,566円 ▶ 市政運営のために
 - 消防費...11,084円 ▶ 救急、防災のために
 - 公債費...35,588円 ▶ 市の借金の返済のために
 - 議会費...3,727円 ▶ 市議会運営のために
 - 教育費...28,769円 ▶ 小・中学校の管理運営、生涯学習の充実のために
 - 農林水産業費...3,147円 ▶ 農林業の振興と育成のために
 - 衛生費...23,494円 ▶ 市民の健康、ごみ処理のために
 - 災害復旧費...1,874円 ▶ 災害復旧のために
 - その他(商工費等)...1,610円

平成30年度の決算状況をお知らせします

平成30年度一般会計等の決算状況をお知らせします。決算は、市議会第3回定例会開会中に設置された決算特別委員会が審査され、10月15日(火)に認定されました。

一般会計

平成30年度の一般会計決算額は、歳入265億3,483万1千円(前年比1.4%減)、歳出259億2,059万9千円(前年比1.6%減)です。歳入歳出の差引は6億1,423万2千円です。

決算の概要

大阪府北部地震をはじめ、台風等による多くの自然災害への対策を講じるとともに、今後10年間のまちづくりの指針となる「第5次八幡市総合計画」を着実に前へ進めるため、市民協働を基本にさらに魅力ある「スマートウェルネスシティ」をめざし、さまざまな

事業に取り組みました。

歳入は、前年度と比較して、市税が6億5,421万5千円、府支出金が7億5,477千円増加しましたが、繰入金金が4億9,071万4千円、市債が3億5,899万8千円減少するなど、歳入全体では3億7,052万4千円減少しました。

歳出は、前年度と比較して、庁舎整備事業等により総務費が7億6,031万6千円増加しましたが、公債費が6億3,300万4千円、土木費が2億2,738万4千円減少するなど、歳出全体では4億2,772万4千円減少しました。

財政状況

市の財政状況は、少子高齢化に伴う生産年齢人口の

減少により、市税の大きな増収は見込めない一方、社会保障関連経費の増加や防災・減災事業の促進など多

くの課題があります。引き続き、市民協働を基本に持続可能な財政運営に努めていきます。

主な取組

- 災害復旧支援
- 庁舎整備事業



- 健幸アンバサダー養成
- 健幸マルシェ開催
- ウォーキングの推進



- 「わたしたちの談話」実施
- 男山地域再生事業
- 育児サポートの充実



- 「徒然草エッセイ大賞」実施
- スタディサポート事業
- 八幡の魅力発信の充実・強化
- 八幡産農産物PR活動支援
- 「まちゼミ」開催支援
- 橋本駅周辺拠点整備事業

火災・救急統計

消防本部 ☎981-4119

2019年1月~9月累計()内9月分		昨年同期累計
火災出動	10件 (0)	7件
火災以外の出動	174件 (16)	211件
救急出動	3048件 (326)	3022件
搬送人員	2830人 (307)	2829人

問財政課
(☎98033・16697)